

令和7年度 上尾市立上平小学校

# 学 校 経 営 方 針

上尾市立上平小学校長

中 島 晴 美

# 令和6年度 上尾市立上平小学校 学校経営方針

校長 中 島 晴 美

※「第3期上尾市教育振興基本計画」と「令和7年度上尾市教育行政重点施策」のもと本校の教育を推進する。

## I 教育の基本理念

### 幸せと夢を育み 未来を創る 上平小

- 急速に変化する社会において、将来に明るい希望を抱き、志をもち自己実現を目指すことのできる、知・徳・体の調和のとれた人間を育成する教育を実践する。
- 一人一人が社会の変化に主体的に向き合い、多種多様なつながりの中で、互いの価値観を認め、互いを尊重しながら、よりよい社会や豊かで幸せな人生を築き上げていくことのできる人間を育成する教育を実践する。

## 2 教育の基本方針

### (1) 幸せに生きる力を育む

- 変化の激しい時代を生き抜き、自らのウェルビーイングの実現とウェルビーイングな未来の担い手となるよう、自分のよさや可能性を認識するとともに、他者の人権を尊重し、知・徳・体の調和を図りつつ、自他の生命を大切にするとともに、感謝する心、公共の精神などを尊び、しなやかに立ち直る心をもち社会の一員として柔軟かつ的確に対応できる、自ら考え学び、考え、実践する、生きる力を育む。

### (2) 絆を育む

- 変化の激しい時代を生き抜くことのできる児童を育成するためには、コミュニティ・スクールとして、保護者、地域社会が連携・協働して一体となってウェルビーイングの実現に向かう教育に取り組むことが重要である。郷土への愛着と誇りを大切に、よりよい地域社会をつくっていくために、児童相互の絆、児童と地域との絆、学校と児童・保護者・地域との絆を育む。（家庭内の保護者と児童の絆は全ての基盤となる）

### (3) 学ぶ喜びを育む

- 「主体的・対話的で深い学び」は、学ぶことの楽しさや満足感、達成感などの喜びと自己肯定感を高める。主体的に学ぶことによって得た喜びは、学びの継続動機となり、能力を向上させ、人生を豊かにする。個別最適な学びの場・時間の確保等、一人一人の児童がいつでも、安心して学ぶことができる心理的安全性の高い教育環境と教育活動を創造することで学ぶ喜びを育む。

### 3 教育の基本目標（第3期 上尾市教育振興基本計画に準ずる）

- (1) 確かな学力と自立する力の育成
- (2) 豊かな心と健やかな体の育成
- (3) 安心・安全で質の高い学校教育の推進
- (4) 多様なニーズに対応した教育の推進
- (5) 学校・家庭・地域の連携と質の高い教育の推進

### 4 学校教育目標

「心豊かで思いやりがあり、自ら学ぶ健康でたくましい子」の育成

### 5 目指す児童像（上平中学校区 令和8年度小中一貫校へむけての共通事項）

- （知） 自ら考え 主体的に学ぶ児童
- （徳） 心豊かで 思いやりがある児童
- （体） 心身ともに健康で たくましく生きる児童

〈児童の具体的な姿〉

（知）

- ・主体的に楽しんで学びに向かう
- ・探求心をもち諦めずに学ぼう、解決しようとする
- ・自分の思いや考えを生き生きと表現する
- ・友だちの意見や思いを聴き尊重する・合意形成する
- ・学んだことを生活に活かそうとする

（徳）

- ・思いやりがある言葉を遣い、行動をする
- ・自分も他者も大切にする
- ・他者と協力・協働する
- ・感謝の気持ちを持ち、表現する
- ・笑顔であいさつをする
- ・前向きな思考を持ち、困難な時もしなやかに立ち直る
- ・様々な社会的ルールが何故あるのかを理解し実行する

（体）

- ・運動を楽しむ
- ・様々な運動にチャレンジし、目標に向かって頑張る
- ・友だちと元気に外で遊ぶ
- ・自分の健康に気をつけて生活する

小・中学校で育てたい児童生徒像（上尾市 学校教育における基本方針）

- (1) 自己を律することができ、他人を思いやることのできる児童生徒
- (2) 自ら考え、様々な人と協働し、主体的に課題解決に取り組む児童生徒
- (3) 多様な考えを認め、一人一人の多様な幸せの実現に向け努力する児童生徒
- (4) 基本的生活習慣を身に着け、社会の一員として責任ある行動が取れる児童生徒
- (5) 心身ともに健康でたくましい児童生徒

## 6 目指す学校像

「笑顔と思いやりあふれ、児童一人一人が生き生きと活動する楽しい学校」  
～ウェルビーイングなコミュニティ・スクール「チーム上平小」～

## 7 目指す教師像

### (1) 児童・保護者・地域・同僚から信頼される教師

- ①職場の心理的安全性を高め「チーム上平小」の一員として主体的に活動する
- ②児童の人権を尊重し、児童の心に寄り添い、温かい人間関係を築く。
- ④児童の努力やよさを認め、褒め、自己肯定感・自己有用感を育てる。
- ③生徒指導・不登校・いじめ問題等の対応方法を学び、適切に迅速に対応する。
- ⑤特別支援教育への知識理解を高め、一人一人の児童への合意形成を図る。
- ⑥保護者・地域・同僚へ誠実に対応する。
- ⑦危機管理意識を高くもち、教職員事故・学校事故を起こさない。
- ⑧児童に確実に次の学力を身に付けさせる

児童生徒に身に付けさせる学力（上尾市 学校教育における基本方針＋☆

### (1) 生涯にわたり学習の基盤となる基礎的な知識及び技能

ア 学びに必要な4つの力の育成

- ①自ら学んで学習する力
- ②集中して学習する力
- ③協力して学習する力
- ④継続して学習する力

イ 個別学習や補充学習、反転学習などを取り入れる

ウ ICTを活用した学習を積極的に行う

☆「微差は大差」45分を充実させる（待ち時間をつくらない工夫、習熟の時間の確保と工夫、児童主体の思考の時間づくり）  
×タイピング練習（×バトル型）

### (2) 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等

ア 見通しと振り返りの活動を必ず取り入れる

イ 協働学習や問題発見・問題解決的学習を積極的に取り入れる

ウ 説明したり発表したりする活動を指導計画の中に必ず位置づける

☆自己決定力を高める

### (3) 学びに向かう力、人間性等の涵養

ア 非認知能力（自制心や自己効力感、自己肯定感、等）を高める取り組みを行う ☆ウェルビーイングな学校・学級・家庭において実現される

イ ほめる教育を推進し、わかった・できた喜びを称賛し合う雰囲気醸成する ☆心理的安全性のある学級において実現される

ウ 教科横断的な学習に積極的に取り組む

## (2) 学び続ける教師

不易と流行のバランスを鑑み、変化の激しい時代 未来を生きる児童に必要な教育について学び続ける

- ① 児童・全職員にとって心理的安全性がある学級経営・学校づくりについて学び実践する
- ② 安心・安全で豊かな（美しい）環境づくりについて学び実践する。
- ③ 豊かな言葉、温かい言葉、心に響く言葉を学び遣う。
- ④ 学校課題研究における研究をとおして「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」等を醸成し、児童一人一人が学びの楽しさを実感させるための教材研究を楽しみ、ファシリテート力を磨く。
- ⑤ 日常の全教育活動をとおりて行う道徳教育・道徳科の指導について学び指導力を高める。
- ⑥ ICT端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進及び、デジタル・シティズンシップ教育を推進する。
  - ※ICT 端末を常時持ち帰りする
  - ※生成 AI やデジタル教材等を積極的に活用する
  - ※児童が自律的にデジタル社会と関わっていけるようにする
  - ※ICT 端末を活用した指導方法を研究する
- ⑦ 外国語科・外国語活動・英語活動を積極的に実践し、日常の教育活動の中で英語を活用できる必然的な環境づくり、英語教育を充実させる。
- ⑧ 豊かな体験活動・読書活動を積極的に計画し効果的に実施する。
  - ※農業体験（土と触れ合う・生命の源・自然愛護へ通ずる）
  - ※様々な人との出会い（人とのつながり、生き方、キャリア教育へ通ずる）
  - ※読書活動（豊かな心の育成、心から読書を楽しむ、読解力の向上、いつでも読みかけの本がある）
- ⑨ 生徒指導・教育相談・特別支援教育の知見を広げ、対応力を高める。
  - ※生徒指導提要のベースはウェルビーイング

## (3) ウェルビーイングについて知り、体現する教師

「子どもは、幸せに生きる大人を見て、幸せになる力を育む」

- ① ウェルビーイングについて理解し、子どもたちがこれから向かう未来へと視野を広げ、子供たちに必要な教育を実践し、教師自ら体現していく。
  - a. 職場・学級の心理的安全性を高める  
(個人が独立した学ぶ職場へと導く 寛容さ・利他性  
真剣な意見を出し合い高め合いができる組織を築く  
お互いの意見の尊重と対話と合意形成力)
  - b. 児童・保護者・地域の方々との信頼関係構築 他者の人権尊重
  - c. 笑顔で温かい対応 (含：自ら笑顔であいさつ)
  - d. ポジティブな思考・言葉・行動を心掛ける
  - e. 温かな言葉と行動
  - f. 仕事に主体性と使命感をもち、他者と協働して取り組む
  - g. 自身の成長意欲を育むとともに、他者の成長意欲を醸成する
  - h. 自身の心身の健康、ワークライフバランスを大切に

## 8 経営の基本方針

### 【令和7年度の学校経営の重点】

- ① コミュニティ・スクールによる地域・保護者と連携したウェルビーイングな学校をつくる
- ② 学校課題研究の推進により、「生き生きと自分の思いを伝えられる児童の育成」「学力向上」を図る
- ③ 上平中学校区小中一貫校（令和8年度から）へ向けての教育課程の計画・準備
- ④ 外国語教育（英語活動・外国語活動・外国語科等）国際理解教育の推進
- ⑤ 豊かな体験活動（農業体験・自然体験・本物に出会う体験等）の充実
- ⑥ ICT 端末の効果的・積極的な活用（「あげお学びのイノベーション 2nd GIGA」の積極的な取組の推進）
- ⑦ 学校図書館教育、読書活動の推進（豊かな心の育成、読解力を高める）
- ⑧ 健康な身体づくり（歯科治療率を上げる、体力向上）

#### （1）コミュニティ・スクールによる地域・保護者と連携したウェルビーイングな学校をつくる

- コミュニティ・スクールの根幹である学校運営協議会の活性化を図り、学校・保護者・地域の信頼関係を深め、ウェルビーイングな学校づくりに向け学校運営の改善や児童の健全育成に取り組む。
- 「チーム上平小」のメンバーは保護者・地域の方々・全教職員と考え、積極的に情報を発信するとともに、PTA・おやじの会を含む学校応援団をはじめ、保護者・地域・幼保中・関係機関との連携に取り組む。
- 信頼される学校職員であるため、事故防止・マナーアップ・教育公務員としての資質の向上に取り組むとともに、職員の心身の健康と安全に配慮した学校運営、業務改善に取り組む。
- 児童が、安心して学べる安全で清潔で潤いのある学校であるため、教育環境の点検及び整備に取り組む。
- これまでの成果を継承するとともに安易な従前主義を排し、よりよくするためには、小さなことでも課題解決と改善を図るための検討、工夫に熱意・誠意・創意をもって真摯に取り組む。

#### （2）学校課題研究の推進により、「生き生きと自分の思いを伝えられる児童の育成」「学力向上」を図る

- 令和6・7年度上尾市教育委員会の魅力ある学校づくり研究校の委嘱を受け、学校課題研究を推進することで、一人一人の児童の学力向上を図る。
- カリキュラム・マネジメントによる教育活動の充実、「主体的・対話的で深い学び」「個別最適化」の視点による授業改革など時代の変化に対応した教育課程の編成・実施・評価に組織的に取り組む。

#### （3）上平中学校区小中一貫校（令和8年度から）へ向けての教育課程の計画・準備

- 令和8年度から施行の「上平中学校区小中一貫校」へ向けて、「グランドデザイン」「9年間を見通した教育課程」を作成する。

○小中連携委員会を発足し、小中の教員の連携を密にとる。

○小中教員の「研修会」「授業参観会」「教育課程会議」を実施する。

#### (4) 外国語教育（英語活動・外国語活動・外国語科等）の推進

○本校が築き上げてきた、児童の英語力を維持・増進するために、「上平小スタイル」の授業をベースに効果的な授業の継続を図る。

○日常的に英語に触れる環境づくりの推進。

○英語を話す必然性のある活動（体験活動等）を創造する。

#### (5) 豊かな体験（農業体験・自然体験・本物に出会う体験等）活動の充実

○各教科領域等において、本物に触れる豊かな体験（農業体験・自然体験・本物に出会う体験）活動を積極的に取り入れる。（含：キャリア教育、SDG s 教育の視点）

○児童の心を動かし、視野を広げ、様々な人との出会いに感謝したり、社会の一員としての自覚をしたりする機会をつくる。

#### (6) ICT 端末の効果的・積極的な活用

～「あげお学びのイノベーション 2nd GIGA」の積極的な取組の推進～

○ICT 端末を効果的に活用した工夫ある授業をつくる。

○「個別最適な学び」の一助としての ICT 端末の活用研究推進

○家庭学習における ICT 端末の活用研究推進

#### (7) 学校図書館教育、読書活動の推進

○読書活動の継続推進を図る。（朝読書・読み聞かせ・読書パスポート等）

○学校図書館を積極的に活用する。

○読み聞かせの時間の活性化を図る（朝活動・業間休 教師の呼びかけ 図書委員会）。

### **9 本年度の重点・努力点**

#### (1) 確かな学力と自立する力の育成

ア 創意工夫を生かした教育指導の実施

- ・一人一人の児童が生き生きと自分の力を発揮することのできる、**心理的安全性の高い学級をつくることに努める**
- ・学習指導要領の確実な実施と新年間指導計画活用と改善
- ・「主体的・対話的で深い学び」及び「個別最適化」を実現する授業の推進
- ・「見通し」「本時のゴール」「まとめ・振り返り」のある授業の実践
- ・学力学習状況調査の活用と学力向上プランにおける具体策の実践  
（本校全体の課題：読む力・情報処理の力・語彙力）
- ・ICT 端末の効果的な活用（文房具のように活用する）
- ・児童の語彙を増やすための工夫ある取組を実践する
- ・外国語教育を充実させるために、「上平スタイル」をベースに授業実践の継続と日常的に英語に触れる環境・必然的に英語を活用する環境づくりに取り組

む。

- ・総合的な学習の時間の目標を踏まえた計画の改善と展開の充実（探求学習の力を伸ばす。PBL（問題解決学習）を目指す。SDGs教育の充実。本物に出会う体験活動の充実を図る。）

#### イ 幼保小連携及び小・中一貫校に向けた教育の推進

- ・令和8年度上平中学校区小中一貫校実施に向け、教育活動の交流、教員同士の交流・教育課程連携・中1ギャップ解消の推進
- ・幼保を含む各学校種間の協力と連携の推進
- ・外国語教育、総合的な学習の時間（SDGs教育）における小中連携の継続

#### ウ キャリア教育の充実

- ・各教科領域等と連携したキャリア教育の推進  
（豊かな体験活動・社会科見学・校外学習・林間学校・修学旅行等）

### （2）豊かな心と健やかな体の育成

#### ア 豊かな心を育む教育の推進

- ・学校の教育活動全体を通して行う道徳教育及び道徳教育「特別の教科 道徳」（道徳科）「考え議論する道徳」の授業の充実（全学級の保護者授業公開）
- ・特別活動の充実（話し合い活動の力を伸ばす 合意形成の力をつける  
他者の意見の尊重 自分の意見を伝える力）  
※学級における心理的安全性の基盤となる
- ・学校ファームにおける農業体験（SDGs教育 豊かな体験活動 環境教育）
- ・豊かな体験活動の推進（本物に触れる 感動を生む 学びに活かすねらいをもった体験）
- ・読書が好きな児童を育成する工夫と学校図書館教育の充実  
（常に読みかけの本がある 本に没頭する 読む力 想像する力）
- ・総合的な学習の時間の充実  
（本物に出会う豊かな体験活動、SDGs教育、ウェルビーイング、自由進度学習やPBL（問題解決学習等への挑戦）

#### イ 生徒指導の充実

- ・校内組織メンバーの心理的安全性を高める
- ・生徒指導提要（令和4年12月改定）『生徒指導実践上の4つの視点』の実践（学校全体）

|                |
|----------------|
| ☆「自己存在感の感受」    |
| ☆「共感的な人間関係の育成」 |
| ☆「自己決定の場の提供」   |
| ☆「安全・安心な風土の醸成」 |
- ・一人一人の児童にとって心理的安全性のある学級経営を行う
- ・予防的生徒指導に努める（発達支援の生徒指導・課題未然防止教育・課題早期発見対応早期発見、「報・連・相談」）
- ・生徒指導スキル（積極的生徒指導 コーチング等）の向上
- ・本校生徒指導共通理解事項に基づく対応（複数・チームでの対応）
- ・あいさつ、廊下歩行の継続指導

- ・生徒指導・教育相談・特別支援教育への知識理解、対応力を高める。
- ・上尾市子供いじめ防止サミット「上平中学校区」行動目標実施
- ・「心を込めて行う清掃」指導

#### ウ 人権教育の推進

- ・ **子どもの権利条約を理解し、守る**  
**【基本の4つの権利】**  
**「差別の禁止」「子供の最善の利益」「生命、生存及び発達に対する権利」「子供の意見の尊重」**
- ・ 同和問題、性の多様性に関わる人権、インターネットによる人権侵害を重点とした人権教育の推進
- ・ 性の多様性への配慮と男女混合名簿・男女混合列の導入
- ・ 人権課題に係る教職員研修の充実（特に同和教育）
- ・ 呼び捨てをしない人間関係づくりの推進（公的な場では、教員から〇〇さん付け 教員同士）
- ・ 児童虐待の早期発見と的確な対応（上尾市子ども家庭総合支援センターや埼玉県中央児童相談所との連携）

#### エ 体力向上

- ・ 体育科授業の充実及び体育科共通指導（ハンドサイン・上平っ子体操等）の実施
- ・ 体育的行事の充実と取組の検討
- ・ 体育授業における運動量の確保
- ・ さわやかタイムにおける工夫ある体力づくりの継続（個人目標 チームワーク・共助精神醸成 目標へ向けて頑張る力）

#### オ 学校保健の推進

- ・ 保健教育、保健管理の充実（含：教職員の健康）
- ・ 歯の健康づくり推進（ぶくぶくタイム＝フッ化洗口の円滑実施、健康教育に係る学級指導の実施徹底、むし歯治療率のアップ）
- ・ アナフィラキシー対応研修（エピペン）実施
- ・ AED操作に係る職員研修（年度当初・運動会前）実施
- ・ 学校保健委員会の充実を図る
- ・ 5年児童の心肺蘇生学習の継続実施

#### カ 食育の推進・学校給食の充実

- ・ 担任、栄養士による食に関する指導の推進
- ・ 学校ファームの食材の適正な活用
- ・ 食物アレルギーに係る保護者面談の実施、
- ・ 栄養教師（他校）によるエプロンシアターの計画実施

### （3）安心・安全で質の高い学校教育の推進

#### ア 教職員の資質・能力の向上

- ・ **組織の一員として、組織全員の力が最大限に発揮できるよう「心理的安全性」が高い「学ぶ職場」をつくる**
- ・ **自己評価シートを1年間の羅針盤とし、目指す学校像の実現に向けた自身**

の役割を確認し、目標と具体策を策定し、実行する。

- ・教職員研修の充実（学校課題研究に係る研修及び必要な研修の実施）
- ・一人一回以上の公開授業の実践
- ・教職員のサービスの厳正とコンプライアンス（法令遵守）意識、及び危機管理意識を高くもち職員事故、学校事故防止を徹底する
- ・教職員の心身における健康の維持増進を図る

#### イ 学校経営の改善・充実

- ・学校運営協議会の円滑な実施と充実を図る
- ・地域とともにある学校づくりの推進（情報発信の充実）
- ・学校評価の改善と確実な実施、評価結果の活用
- ・特色ある教育課程の編成、実施、評価
- ・学校における働き方改革の意識化及び業務の効率化、負担軽減、職員の在校時間の縮減の工夫（時間外在校時間の1か月45時間以下、年間360時間以下の実現）

#### ウ 学校環境の整備・充実

- ・潤いのある豊かな環境づくり（アート・豊かな言葉を意識した校内掲示・環境教育の効果を高める環境コーナー・ビオトープ等）
- ・「郷土資料室」の整理整頓（児童の教育活動に安全で有効な場所へ）
- ・各倉庫の整理整頓（限られた場所の有効活用 安全確保 物品紛失を防ぐ）
- ・学校応援団、児童委員会とともに取り組む環境教育の推進（ネイチャーコーナー、在来種グリーンカーテン、地球温暖化防止対策等）

#### エ ICT端末の活用推進

- ・ICT端末を効果的に使用した授業等の創造（授業内・個別最適な学び・宿題・探求）
- ・ICT端末活用研修の実施
- ・教材作成、事務負担軽減の工夫
- ・情報モラル等の指導の計画的実施
- ・「上平小 ICT 端末活用のルール」の確認とPDCAと家庭への周知

#### オ 学校安全の推進

- ・安全点検の確実な実施（月1回）及び迅速な修繕の実施
- ・安全対策の徹底（閉門・特別教室や更衣室等の常時整理整頓、避難経路）
- ・日々の整理整頓、丁寧な備品管理
- ・避難訓練（含：自主避難訓練）の充実及び防災教育の推進
- ・防犯教育・不審者侵入の防止と対応の充実（研修、訓練の継続化）
- ・通学班指導、交通安全教育の推進（交通安全教室の改善や自転車乗車時のヘルメットの着用促進）
- ・スクールガードリーダー、上平小こども見守り隊との連携

### （４）多様なニーズに対応した教育の推進

#### ア 特別支援教育の推進

- ・通常学級でのユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境づくり及び授業の推進

- ・通常学級に在籍の特別支援教育対象児童及び、交流学級における特別支援学級児童への合理的配慮の実施
- ・特別支援教育体制（特別支援教育コーディネーター・学年主任・担任・アッピースマイルサポーター等で支援の在り方を確認する）、支援籍学習（通級による指導を含む）や交流の充実

#### イ 学校教育相談の充実

- ・教育相談体制、就学支援体制の充実
- ・教育相談スキルの向上
- ・不登校、長欠の未然防止と初期対応の充実（カルテ・記録の保管）
- ・スクールカウンセラーの活用促進、上尾市教育センターとの連携
- ・スクールソーシャルワーカーとの連携、中学校さわやか相談室の活用促進
- ・スペシャルサポートルームと SRT の有効活用

#### ウ グローバル化に対応する教育の推進

- ・ウェルビーイングにつながる S D G s の教育展開
- ・伝統文化に親しむ教育の推進（箏、尺八体験学習等の継続）
- ・外国語・外国語活動、国際理解教育の充実（上尾市英語力向上プランの実践、9年間を見通した英語学習、A L T の積極的な活用、英語を活用する必然性のある活動・取組の推進 他国の文化に触れる学習機会）

#### （５）学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

- ・学校・家庭・地域が連携する教育活動の推進
- ・学校運営協議会の活性化
- ・学校ファームに係る学校応援団活動の充実
- ・P T A、おやじの会、地域関係機関、地域企業等との連携

### 10 道徳教育の基本方針

- ア 「道徳科」の授業を要とした学校教育活動全体をとおして自立した人間として、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- イ 道徳性を育成するため、教育活動全体を通じて全教職員が手本となり道徳教育を推進する。（教師の言葉や態度が道徳教育の礎となる意識を高める。）
- ウ 道徳科の授業「考え議論する道徳」の指導方法を工夫する。
- エ 道徳授業の公開、情報発信等をとおし、保護者・地域との連携を図る。